

## 王子ホールディングス及びレクメドの資本業務提携のお知らせ

王子ホールディングス株式会社(社長:加来正年、本社:東京都中央区、以下「王子HD」)は、本日開催の王子ホールディングス取締役会において、株式会社レクメド(社長:松本正、本社:東京都町田市、以下「レクメド」)との共同開発及びレクメドの第三者割当による新株式発行に対して出資する業務提携(本業務提携)を決議いたしましたので、お知らせいたします。

### 本提携の趣旨

#### (1)王子HD及びレクメドのこれまでの状況

王子HDは木質資源からつくられる「硫酸化ヘミセルロース」を医薬品として製品化するため、2020年4月1日付で王子ファーマ株式会社(社長:横山勝、本社:東京都中央区、以下「王子ファーマ」)を設立しました。大学や製薬企業との共同研究開発により、硫酸化ヘミセルロースの血液凝固阻止作用、抗炎症作用、保湿作用等の知見を得ており、これら特長を発揮できる疾患領域にターゲットを絞り、研究開発を進めています。

レクメド(1998年5月12日設立)は希少疾病用医薬品をはじめ、アンメットメディカルニーズの高い疾患領域の医薬品を開発・製造販売しています。木質資源由来の医薬品有効成分である「ポリ硫酸ペントサンナトリウム」による医薬品開発では、bene pharmaChem GmbH & Co. KG(本社:ドイツ)より原薬の提供を受け、ムコ多糖症、変形性膝関節症、HTLV-1関連脊髄症(HAM)等を適応症として臨床開発を進めています。

#### (2)本提携の目的

王子HDとレクメドは、王子ファーマが開発する「硫酸化ヘミセルロース」とレクメドが開発する「ポリ硫酸ペントサンナトリウム」はどちらも木質資源由来の物質である共通点から、両社のアライアンスの可能性について協議を重ねてまいりました。

協議の結果、王子ファーマとレクメドとの間に研究開発に関する共同のパートナーシップを構築することにより、両社の医薬品研究開発が合理的に進展することで認識が一致し、本提携を実現させることに合意いたしました。

#### (3)今後の見通し

第三者割当増資に係る払込は2020年12月25日を予定しております。本提携により、木質資源由来の医薬品に関する研究開発について相互協力を行いながら、両社の商品価値を最大化する関係を構築してまいります。

### 本件に関する問い合わせ先

王子ファーマ株式会社

執行役員 石川稿太郎 TEL:03-3533-7617 E-mail:[OJI-PPS@oji-gr.com](mailto:OJI-PPS@oji-gr.com)

王子ホールディングス株式会社

広報IR室

TEL:03-3563-4523 E-mail:[oji-holdings@oji-gr.com](mailto:oji-holdings@oji-gr.com)